

SAMPLE サンプル 試読



SM小説
淫虐の樂園

あんぷらぐ
荒縄工房

SAMPLE サンプル 試読

SAMPLE サンプル 試読

S
M
小説

淫虐の樂園

めんぷらぐ著

荒縄工房・発行



SAMPLE サンプル 試読

本作品はすべてフィクションであり、実在する人物・地名・団体とは一切関係ありません。また、特定の個人、団体、宗教、人種、性別などを誹謗中傷する意図はありません。

めんぷらぐ

S M雑誌に「仲ゆうじ」名でS M小説を執筆して作家活動をスタート。その後、編集の仕事に携わる。九〇年代よりネットで複数のペンネームで小説を執筆。二〇一一年「荒縄工房」より「あんぷらぐど」名義で独自の自虐的S M小説、伝奇S M小説などを発表。二〇一九年「あんぷらぐ」に改名。東京在住。

SAMPLE サンプル 試読

目次

相愛	阿鼻	披露	豕畜	懲罰	階級	教育	契約	支配	菜園	主な登場人物
7	6	5	4	3	3	2	1	6	8	
2	2	4	5	7	0	2	5	9		
8	9	1	6	9	0	4	0			6

SAMPLE サンプル 試読

奥付	熟成	完成
1	9	8
0	2	2
2	0	2
2		

主な登場人物

久場田亮毅くばた りょうき 二十五歳。無職。

ワイラ・パライソ 2120室

都川未知子つがわ みちこ 四十一歳。小柄。金持ちの夫と死別。

都川杏美つがわ きょうみ 女子校生。未知子の娘。

ワイラ・パライソ 3119室

糸島香織いとま かおり 四十四歳。IT系の社長と離婚。自らネット

トビジネスを経営。

茶島玲奈さじま れいな 女子校生。香織の長女。

SAMPLE サンプル 試読

茶島美紀 さじまみき 女子校生。玲奈のひとつ下の妹。

古来 ふるき 四十代。丸坊主。役者経験あり。
花馬 はなま 二十代。ギラギラした長髪の男。古来の部下。

男優もやる。
蛭谷 ひるや 二十代。筋肉質。メガネ。高学歴。
堀位 ほりい 二十代。丸顔。蛭谷の中学以来の友だち。

SAMPLE サンプル 試読

シニヨンヘアの女子たちが、バレエのレッスンを終えて駅前のビルから出てくる。練習の邪魔にならないように、かなりきつめに後ろで束ねて、ゴムやピンで留めている。

中にはもう終わったのだからと、早々に崩してしまつ子もいるし、深めの帽子を被っている子もいる。

上品な人たちの住むこの街にはお似合いの光景だった。モデル事務所のスカウトたちが、かなり頻繁にチエックしているとウワサされており、この日もそれらしい身なりのいい年配の女性が、女の子たちをじつと

見つめていた。

いきなり声をかけたりはしない。バレエ教室からそうした行為を禁じられているからだ。

そんな和やかな光景を、喫煙所でタバコを吸うふりをしながら眺めている小太りの男がいた。久場田亮毅。二十五歳。無職。タバコは嫌いなので、あくまでもフリだけだが、そんな彼のことを気にする者はいない。忙しい人たちが駅前で唯一、喫煙できるその場所に来ては目的を果たしてさっさと移動していく。

茶島玲奈さじま れいなが、頭をふって髪を元に戻していく姿を見ると、股間がぎゅっと硬くなる。いまこの場で射精したい。近くのコイン式の公衆トイレに駆け込んで自慰

をしたことも二度や三度ではない。

手の届かないところにいる美少女。来年女子校を卒業するのだ。海外の学校へ行くとか、モデル事務所とすでに契約して本格的な芸能活動をするなどとうワサされている。

その妹の美紀みきも一緒にいる。彼女の笑顔も眺めていて楽しめるレベルだ。美しい姉妹。

やがてそこに、同じマンションに住む美紀と同級の都川杏美つがわきようみが加わる。いつものメンバーだ。

三人は駅前のコンビニに入る。一度入ると長い。

久場田はペットボトルのお茶を飲み、新たなタバコに火をつける。煙を吸わず吐き出すだけ。

素通しのガラス越しに彼女たちの頭部や、ときには横顔が見える。たいがいは菓子をいくつか買って出てくる。どの菓子にするかでいつも長時間、三人は束の間の大人の干渉を受けずに楽しんでいるのだ。ウワサされている新製品を探すのだ。

買い物が終わり、小さなレジ袋を下げた彼女たちが、ときには口に何かを入れて出てくることもある。アイスやキャンデーやチョコだ。その艶やかな唇の艶めかしさを彼女たちは自覚していない。

このあと、彼女たちはなにも知らず、久場田のすぐ近くを通り過ぎる。そのとき、風がふわっとと彼女たちの匂いを運んでくることがある。甘酸っぱい、汗や

石鹼の香りだ。

彼女たちが見えなくなるまで久場田は喫煙所にいる。夕日が高いビルに反射している。

同じ街に住んでいるのに、久場田と彼女たちとはまるで世界が違う。現在も未来も違う。

だが、どうしても茶島玲奈を仕留めたかった。彼女の細く長い足を広げて、その股間に押し入ったとき、どれほどの快感が得られるだろうか。自分の体の下に彼女を組み敷いたとき、どれほど高揚するだろうか。

あの小さな唇や、頬を舐め回したら、どれほど甘酸っぱい味がするだろうか。

久場田はタバコを消して、ゆっくりとその場を立ち

去る。彼女たちに背を向けて駅へ。途中で左に折れる。駐輪場で自分の自転車を引き出すと、勢いよく裏道を走る。

「おまえたちの行くところは知ってるんだ」

あつという間にマンションが見えてくる。最近できたタワーマンションに挟まれて建つ低層のマンション群。高さ制限があつた頃に、工場跡地にできた四階から六階のマンション。築二十年ほど。土地に余裕があり各棟の距離も適度に離れ、植栽も豊かに育ち公園のようだ。

完成から数年は高値で売買されたらしいが、その後の規制緩和でタワーマンションの建設も可能になると、

そちらに人気が奪われていく。どうしても高層階が不安だというお年寄りや、茶島たちのような環境重視のファミリーにとつては、いまも根強い人気だ。

駐車場には高級車が目立つ。それもショールームのようにピカピカの車両ばかりだ。

茶島玲奈は道路に近い四階建ての棟の三階に住んでいる。彼女たちが角を曲がってやってくる。

そしてマンションのエントランスに入り、一緒にエレベーターに乗る。

都川杏美は二階だ。部屋番号のつけ方が変わっていて、2120号室。その斜め上に茶島玲奈たちの3119号室がある。

かなりの危険を冒して、家族構成や部屋番号を調べた。

それも半年も前のことだ。寒い冬から、すっかり薄着の初夏となり、彼女たちの美しさも増している。

「おれの楽園。おれ様の楽園がそこにある……」
どうにしかしたい。久場田はうつとりとマンションを眺めるのだった。

昼下がり。平日のマンションは誰もいないかのように静かだった。ペット可なのだが、犬は少なく、入居時に元気だった犬もすでに亡く、いまは吠えないので猫が増えていると、都川未知子は管理人から聞いてい

た。

内廊下から非常階段に出る。上の階へ行き、茶島香織を訪ねた。チャイムを押すと、内側から「カギはかかっていません」と蚊の鳴くような声がする。

未知子は口元を歪めて笑みを浮かべると、ドアを開けた。

すぐには閉めない。

玄関に茶島香織がいる。土下座している。全裸だ。年齢の割には肌もきれいで、腰もくびれている。子どもを二人産んでいるとは思えない。この界限でもとびきりのプロポーションだ。

「まあ、茶島さん、どうされましたの？」

小柄な未知子は、わざと声を高めに出す。

「ああ、どうか閉めてください。恥ずかしいです」
「誰もいないわよ」

内廊下で向かい側には老夫婦が住んでいる。玄関の位置はズレている。廊下の音は部屋まで届かない。

「ああ、でも、お願いですから」

「じゃ、どうして茶島さんは、そんな格好をしていらつしやるのか、教えてくださいませんか？」

「うううう。はい。わかりました。私、茶島香織は、四十四歳にもなつて、淫乱すぎる牝豚でございます。ご主人様にいじめていたただかなければ、淫乱の虫が治まらず、気が狂ってしまいます。どうか、ご主人様。

茶島香織をいじめてください」

未知子はようやくドアを閉じて、中からロックした。万が一、娘たちが帰宅して来る可能性もある。その恐怖に香織は耐えていたのだ。未知子がじらしてゆつくりとやってくる間。

「よく言えたわ。だけど、すぐに言えなかつたわね。

これはお仕置きしなければ」

「は、はい」

香織はぐるっと反対を向き、お尻を向けた。

「もつと高く」

「はい」

未知子が金属製の細長い靴べらを手にした。美しい

オブジェのように小さな四角い台座に突き刺さっている。それを引き抜く。直線的なフォルム。わずかな局面。先端は丸みを帯びている。

それをビュツと音を立てて下から上に振り上げた。

「あうっ！」

その金属の先端が、香織の性器を直撃した。しかし、彼女はつんのめることなく、はしたない叫びも上げずに耐えた。

「ありがとうございます！」

上ずった声。

靴べらの先端をその鼠径部に押し当てる。

「あっ」

「どうなの、香織。今日はどこを責めてほしいの？」

「うう、お好きなように」

「あら、生意気。ここじゃないの？」

性器に先端をめり込ませた。

香織は少し腰を浮かせた。

「はい。香織のいやらしいおまんこを存分にいじめてくださいませ」

「そうね。だけど、こつちはどう？」

先端がアヌスに移った。赤みを帯びたアヌスは、皺が深く刻まれ、香織が荒い呼吸をするときゆつとすぼまったり、緩んだりする。

「ああああ、香織の汚いケツ穴を存分に舐めてくださいさ

奥付

お読みいただき、ありがとうございました。

二〇一三年十二月刊行 第一版

著作権 あんぷらぐ（あんぷらぐど）（荒縄工房）

荒縄工房の情報は下記サイトへ

●ブログ「荒縄工房」

●ホームページ

●荒縄工房 S M 研究室

●今日も上機嫌ってわけないだろ

コメント、メッセージ歓迎。ご意見、ご感想、ご提案など随時、ブログで受付中。